

平成30年度  
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程)

教科	情報	科目	社会と情報	学年	4年	類型	共通	単位数	1	単位
----	----	----	-------	----	----	----	----	-----	---	----

教科書名	高校 社会と情報 新訂版	出版社名	実教出版
------	--------------	------	------

学期	月	指導計画		評価の観点				授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等		
		単元	内容	関	思	技	知			
一 学 期	4	第1章 情報社会	1 情報と情報社会	3 情報社会の問題	◎		○	<p>授業の概要</p> <p>・表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを利用して、コンピュータの使い方や情報の収集・伝達・発信の方法を学習します。</p> <p>・著作権やモラル、ネットワークの仕組み、情報の歴史なども学習します。</p> <p>・他の教科でも利用でき、卒業してからも情報化社会を生きていく上で必要な基礎知識を勉強します。</p>		
			2 社会の変化と個人の責任		◎		○			
			4 個人情報とその保護		◎		○			
			5 メディアとその特徴		◎		○			
			6 メディアリテラシー		○	◎				
			中間考査(5/15～5/18)		○	◎				
	6	第2章 コミュニケーション	1 コミュニケーション	2 電子メールの利用	○	◎	○			
			3 ネットワーク	4 共通の取り決め			◎		○	
			5 インターネットの仕組み	6 Webページの閲覧とメールの仕組み	◎		○			
			7 インターネットを利用したサービス		◎		○			
7	第3章 情報安全	1 個人による安全対策	2 組織による安全対策		◎	○	<p>学習の到達目標</p> <p>・情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身に付ける。</p> <p>・自ら課題を見つけ、解決していく能力を身に付ける。</p> <p>・情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身に付ける。</p> <p>・コンピュータの特性や情報通信ネットワークの仕組みなどの基礎知識を習得する。</p>			
		3 安全のための情報技術	4 暗号化			○		◎		
		5 法規による安全対策	6 知的財産権の概要と産業財産権		○			◎		
		7 著作権	8 著作物の利用		◎			○		
二 学 期	9	第4章 デジタル化	1 デジタル情報の特徴	5 色のデジタル化	◎		○	<p>評価の観点</p> <p>関心・意欲・態度</p> <p>情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。</p>		
			2 静止画像の扱い				◎		○	
			3 数値や文字の表し方				◎		○	
			4 音のデジタル化				○		◎	
	10	中間考査5年(10/2～10/5)	6 画像のデジタル化	8 圧縮の仕組み			○		◎	
					7 圧縮の種類				○	◎
	11	第5章 問題解決	9 さまざまな計算	10 圧縮の仕組み			○		◎	<p>思考・判断・表現</p> <p>情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。</p>
			1 問題を解決するには		◎		○			
			2 情報の収集		○		◎			
			3 情報の整理と管理		○		◎			
12	期末考査(11/28～12/4)	4 分析のための工夫	11 圧縮の仕組み			○	◎	<p>技能</p> <p>情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。</p>		
		5 関数と統計		○		◎				
		6 表とグラフの活用		○		◎				
		7 分析の実際		○		◎				
三 学 期	1	冬季休業日(12/21～1/6)	8 問題解決の実際	12 圧縮の仕組み	○		◎	<p>知識・理解</p> <p>情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。</p>		
			9 問題解決の実際		○		◎			
			10 問題解決の実際		○		◎			
			11 問題解決の実際		○		◎			
	2	総合実習	9 プレゼンテーションの方法	13 圧縮の仕組み			○	◎	<p>評価方法</p> <p>学習の状況は、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方」、「定期考査」、「小テスト」、「実習作品」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。</p>	
			10 Webページによる情報発信				○	◎		
	3	学年末考査4・5年(2/22～2/28)	6 表とグラフの活用	14 圧縮の仕組み			○	◎	<p>備考</p>	
			7 分析の実際				○	◎		
			8 問題解決の実際				○	◎		
			9 問題解決の実際				○	◎		